



がんばっている人へ

「ありがとう」をとどけよう

新型コロナウイルスは、誰しものが感染する可能性があります。私たちは、この感染症とこの感染症がもたらした社会の変化に対して、正しく向き合うことが必要です。

心ない言葉に傷ついている方がいます。決して責めることはせず、「感謝」と「思いやり」の心を持って協力して過ごしましょう。



ふじのくに感染症専門医協働チーム(FICT)
静岡県新型コロナウイルス感染症対策専門家会議 座長
静岡がんセンター 感染症内科 部長
倉井華子 医師

西伊豆町の介護老人保健施設の新型コロナウイルス感染症クラスター支援に入りました。施設内ではつらい気持ちを抱えながらも、職員や応援メンバーが懸命に活動しています。不安や恐怖が誹謗中傷や、偏見など様々な歪みに変わりやすいのも今回の新型コロナウイルス感染症の特徴です。

地域の皆様の温かいサポートを、お声かけを、ぜひお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症は、未だ終息の目処が立たない状況です。この未知のウイルスに、大勢の方が不安や恐怖を感じている中、最前線で私たちの生活を守り、社会活動を支えてくれている医療従事者や介護従事者、学校や保育所職員、物流事業、販売業など多くの人たちがおります。その方が、家族ともども理不尽な扱いや差別を受けることのないよう、私たちひとりひとりがその方たちに感謝と敬意を持ち、お互いに支え合っていきましょう。



松崎町長 長嶋 精一

感染拡大防止のため、三密の回避、マスクの着用、手洗いの徹底など、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。